

支部協だより

第68号

発行所
 NTT労組退職者の会
 沖縄県支部協議会
 沖縄県浦添市城間4-35-2
 ☎098-870-7101
 Fax.098-875-7450
 責任者
 黒島善市

反自公、革新勢力の過半数獲得を

― 県議選に私たちは何を求めむか ―

副会長 垣花 廣光

県議選挙(五月三〇日告示、六月八日投票)に、私

たちは何を求めるか。箇条書きにしてみました。ここから見えてくるのは、反自公(自民党・公明党に投票しない)を過半数割れに追い込み、革新勢力の圧倒的勝利しかありません。地方の政治は生活密着です。

1 生活は安心できるか

①もうすでに走った後期高齢者医療制度
 小泉改革悪によって格差社会が作られ、拡大している。戦後の苦しい時期を戦後復興に貢献してきた高齢者に新たな格差を作る差別医療制度は直ちに廃案にするしかない。

②朝令暮改のガソリン値上げ

車社会においてガソリンは必要不可欠のもの。

また物流においては心臓に相当する。道路よりも税負担を軽減し、安心して生活保障制度の確立を。

③安心して年金生活ができる制度の充実を
 退職者にとって年金は唯一の収入源です。生活の保障、医療・介護が安心して受けられるような社会保障制度の充実を。

④伝統文化を大事に
 沖縄には十一の世界遺産が登録されています。伝統文化は私たちのアイデンティティーです。

2 日米安保にどっぷり浸かった沖縄

①沖縄に軍事基地はいりません。欲しいところは手

を上げて! (いけないでしょう) 首相の出身地はいかがでしょうか。

②もちろん辺野古基地建設は不要です。早急に危険極まる普天間基地の閉鎖を。

③日米安保そのものが不平等条約ですが、その運用はもっと謙屈的です。見直すしかありません。民主党が見直しを始めました。

3 平和は造り上げるもの
 ①国家・政府は過ちを認めようとしなさい所
 日本軍による住民集団強制死は、住民の証言を無視(軍命令書・文書がないということ)し、教科書を改ざんします。

大江・岩波書店大阪地裁判決は、軍命令があり、住民集団強制死があったことを認めました。

②憲法九条は日本の誇る世界の遺産
 二〇世紀は戦争の歴史といわれた。第一次、第二次世界大戦、朝鮮戦争、ベトナム戦争、湾岸戦争等々。今世紀に入ってイ

ラク戦争が今まだ続いています。
 世界に誇る平和憲法を持つ日本は、世界平和に貢献したのだろうか。今からでも遅くはない。憲法九条を世界に大いに宣伝(営業)しよう。



全国交流集會に参加して

退職者の会「全国交流集會」に長嶺瞳さんと二人の参加で、恒例の「役員育成と活動交流」を目的とした集會が連休明け五月七、八日の二日間、熱海の後楽園ホテルで開催されました。

沖縄から二時の開會に間に合うかと心配でしたが、羽田から順調な交通の乗り継ぎで早めに会場入りが出来ホッとしました。

初日の全体集會は会長挨拶から始まり、中央本部からは「NTT労組の当面する課題」としての内容で、外部からの講演は健康管理士小久保晴代さんの「少しでも歩けば五年後、十年後には大きな差が」。実技を交

えての話で、特に印象は

「筋肉を鍛える事で血流が良くなる」講話で退職者ライフを豊かにする内容でした。「生協法改正に伴う当面する課題」では小野寺生協理事長から説明が有りました。

二日目の全体集會は特別講演で、鈴木寛参議院議員から「私達の生活と政治のかかわり」で「無関心と無言」では何時までたつても私達の生活向上は望めない事でした。全国交流集會のメインテーマ「魅力ある退職者の会」を、一グループ二八名の五分散會に別れグループごとに熱心に話し合いました。

二泊とも夜は交流会で、

北は北海道から南は沖縄の一四〇余名と親睦を通して感じた事は、退職者の会の催事に集まりが少なく参加者は何時も同じ会員で、会員が気軽に参加できる「魅力ある退職者の会」に向け努力する事が主な課題になりました。

(熱海の海岸散歩せず)

秋葉原電気街(二人づれ)

幹事 本村嘉英

感謝状を受ける

去る四月二六日、那覇市の沖縄都ホテルで、(社)沖縄県脳卒中等リハビリテーション推進協議会失語症部会(大城栄徳会長)の総會があり、私たち支部協に感謝状が贈られた。同協議会は財政難等で解散、規模を縮小し新たに沖縄県失語症友の会として発足した。これからも、温かく見守っていきたいものです。



退職者総合共済制度の見直しについて

退職者の会の加入時に、会員の皆様から預託金五万円(八〇才でこの五万円は返還される)を預り、別表(新旧比較表)のとおり共済項目で運用されていますが、以下のとおり事由で、新しい共済制度が提案されています。「一」では、提案理由の概要と共済項目の新旧比較表について記します。「二」では、これまでの論議経過と問題等を記します。

下では、利益を出すことが厳しい。将来、共済項目の支払に困難を生じる恐れがある。

2、預託金五万円について新規会員対象者から「高い」等の不満がある。新規加入がしやすい環境作りが必要である。

3、新制度で貰える共済項目(別表の新旧比較表)を追加新設、あるいは金額の増額を行い、団塊の世代の新規加入者増を図りたい。

4、五万円の預託金制度は廃止して、共済掛金年間六

千円としたい。(プラス支部協会費二千元が加わります)

5、現在の会員(預託金を納入済の会員)については、一括返還するか、あるいは、五万円を六千円で除すると八・三だから端数は一年分として処理し、即ち九年分の会費を前納したものとして処理する方法も考える。

6、満九〇才以降は、掛金(六千円)は免除する。

7、満八〇才で、預託金をすでに返還している会員については、八九才まで、毎年掛金を払うよう働きかける。

別表 新旧共済項目比較表	新規 (共済金)	旧 (共済金)	差異
死亡 共済加入者本人 配偶者	10,000 10,000	10,000 10,000	同じ 同じ
疾病 重度障害 2級 3級 4級 病氣見舞金 (15日以上) 病氣見舞金 (30日以上)	10,000 (2級以上は 掛金免除)	なし	新設
	5,000	なし	新設
	10,000	なし	新設
祝 金 結婚 出生 銀婚(25年) 金婚(50年) 古希(70才) 喜寿(77才) 傘寿(80才) 米寿(88才) 白寿(99才)	10,000	(昔あった)	復活
	10,000	(昔あった)	復活
	10,000	(昔あった)	復活
	10,000	10,000	同じ
	35,000	(昔あった)	復活 (2万円増)
	35,000	10,000	復活 (2.5万円増)
	50,000	(昔あった)	復活 (3万円増)
70,000	10,000	復活 (6万円増)	
100,000	50,000	(5万円増)	
付加給付 自然災害による 本人死亡 同居家族の死亡	50,000 30,000	なし なし	新設 新設
	避難見舞金 (1ヶ月以上) 避難見舞金 (3ヶ月以上)	50,000 30,000	(昔あった) (昔あった)

(二) 討議経過と問題点等について

1、三月六日、九州八県が集まり開催された九州連絡会で、新制度の提案がなされ全貌が明らかにされました。本連絡会での議論では、総合的に九州各県とも新制度については否定的でした。沖縄県支部協会の会員の中には、県支部協費(二千元)のみを支払っている方々が多数います。新制度が実施されると、毎年六千円+二千円+(交通・災害等任意共済部分の掛金)が引落されま

会員の訃報について
次の会員の方が亡くなられました。
慎んでご報告し、故人のご冥福をお祈りします。
嘉手納武仁(二〇〇八・四・二二)(那覇市在)

す。最低八千円が自動引落とされ、この事態について、会員から不満が出ていることを憂慮しています。

2、三月一三日開催のブロック会議(九州四県+山陰五県)では、賛成・反対が相半ばして、結論的なものは見出し得ませんでした。

3、単純計算すると、現在八〇才で預託金五万円は返済されます。仮に八〇才の誕生日まで長生きしたとしても、

この計算例では、病氣見舞金や高額な災害に伴う避難見舞金、その他は含まれていません。これらを含みますと、もっと沢山貰うことになりま。

4、全国の退職者の会の会員の平均寿命については、何かなのか確認していませんが、八〇才までの長寿者が多くなれば、この新しい制度は二〇年前後で破綻します。又、現在のような低利率が続くならば、約九年分(会費制とした時五万円の預託金と同額) 〇六九才の平均寿命ならば、その資金の運用については懸念されます。

5、全国を五ブロックに分けて、それぞれ討論、検討が行われていますが、それぞれのブロックでどのような結論が出たのか、現状ではわかりません。

6、この問題について、会員の皆様からの意見、質問等をお待ちしています。

7、沖縄県支部協会的には、新規会員募集にあたり預託金五万円の提出については、特に大きな不満はありません。八〇才になれば、あるいは退会する際返還されるという喜ばしい結果ですが、

会費納入金額合計六千円×二〇年=一二万円
貰う共済金合計(銀婚・金婚・古希・喜寿・傘寿のみ) 一四万円
計算例からすると長生きした方は、掛金納入額より共済金を貰う金額が多いという喜ばしい結果ですが、

という事事で納得しているようです。従って共済制度の新設については、幹事会の結論は、否定的です。



北部地区協Gゴルフ大会
五月一八日(日)午後二時から、二一世紀の森公園で会員・家族三〇名余が遠くは大宜味村、今帰仁村からも参加。大会は地区協与那覇会長の挨拶と新会員の紹介があり、選手宣誓の後にぎやかにプレーが始まりました。終了後は恒例の交流会があり、そうめんチャンプルー、いなりずしその他のご馳走に舌鼓した。